

わかやま 市議会 だより

- ・特集 わかやまおもちゃ病院
相談受付中!! P2
- ・正副議長の挨拶／6月定例会の概要 P4
- ・採決状況／委員会の構成 P5
- ・一般質問 P6
- ・委員会審査の概要 P10
- ・永年在職議員表彰など P12

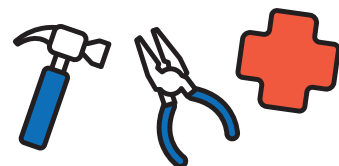
No.102 令和3年(2021年)8月1日発行



光る技 結ぶ笑顔

特集vol.15

わかやまおもちゃ病院 相談受付中!!



壊れて遊べなくなったおもちゃはありませんか。全国各地に開院しているおもちゃ病院は、ボランティアで壊れたおもちゃを原則無料で修理し、新しい生命を吹き込んでいます。今回、和歌山市内でもおもちゃドクターとして活躍している「わかやまおもちゃ病院」の小林院長にお話を伺いました。

ドクターの技が光る

平成29年7月に開院したわかやまおもちゃ病院は、現在27名のおもちゃドクターが所属しています。

60代を中心に最年長86歳のドクターが、様々な修理依頼がある中、電気、機械、裁縫などそれぞれの得意分野を生かし活躍しています。

壊れたおもちゃの修理は、私たちが病院を受診するときと同様の手続で進みます。まず、問診票を記入し、症状を確認するための診察を受けてから治療（修理）が始まります。治療に時間が掛かる場合は入院（預かり）となり、原則翌月の開院日には完治し、退院（返却）となります。

わかやまおもちゃ病院は、これまで約1350件の治療依頼を受け、その完治率は約90%と高い実績を上げています。



わかやまおもちゃ病院
院長 小林 修治さん

わかやまおもちゃ病院



親子おもちゃ修理教室

申込み不要
参加無料

壊れたおもちゃを自分たちで修理しよう！
おもちゃドクターがお手伝いをします。

【日時】8月22日(日) 13時～15時30分

【場所】フォルテワジマ6階-C

【問合せ先】わかやまおもちゃ病院
090-7100-2316(小林さん)

定期診療日

①あいあいセンター4階

原則毎月第1土曜日
9時～12時

②フォルテワジマ6階

原則毎月第2日曜日
11時～15時

※新型コロナウイルス等の影響で中止又は休診となる場合があります。
わかやまおもちゃ病院ホームページ(<https://wakayama-toy.sakura.ne.jp/wp/>)を事前にご確認ください。



編集後記



新型コロナウイルスの影響により、思うように活動ができなかったおもちゃ病院。久しぶりの再開に期待と不安を抱きながらの取材となりました。

出足は鈍かったものの、家族連れが1組、2組と来院すると、一気に活気づいてきました。アクリル板越しに症状を聞き取り、おもちゃを手にとっては何度も症状を確認する様子は、まちのクリニックと変わりはありません。来院した家族に話を聞くと、かかりつけ医のようにお世話になっているとのことでした。

子供たちに笑顔を与えるおもちゃ病院の活動をぜひ皆さんに知ってもらいたいと強く感じました。

特集担当：佐伯 誠章、中村 朝人

原動力は笑顔です

音が鳴らなくなったピアノを持参した母親は、長女と次女が遊んでいた大切なおもちゃなので、今度は三女にも遊んでもらいたいとの思いを院長に伝えていました。

また、恐竜のおもちゃを持参した子供は、診察の様子を心配そうに見つめていましたが、院長の話を聞いて、少し安心したように見えました。

小林院長は、思い出が詰まった大切なおもちゃを治療し、子供や依頼者に手渡したときの笑顔を見るのがやりがいだと言います。しかし、おもちゃは時代とともに複雑化しています。経験を重ねることはもちろん



んですが、治療には更なる技術の向上が求められます。そのため、ドクター間の交流に加え、院内の勉強会を定期的開催するなど、日々努力しています。

ボランティアは永遠に！

壊れたらすぐに捨てる、また新しい物を買う、このような状況になっていませんか。

わかやまおもちゃ病院の活動は、子供たちが物を大切にすることを育む一つのきっかけとなっています。また、おもちゃドクターにとって年齢を問わず、社会で活躍することに生きがいを感じる活動となっています。そして、その思いは現状の活動にとどまらず、子育て支援施設や保育所等への出張おもちゃ病院の拡張、さらには移動おもちゃ病院の開業なども考えているそうです。

市議会だより6月定例会号を通じて

て、わかやまおもちゃ病院のボランティア活動を多くの市民が知り、壊れたおもちゃが生まれ変わることで最高の笑顔を見せてくれることを期待しています。



正副議長の挨拶

このたび、和歌山市議会の議長、副議長に就任いたしました。市民の皆様には、日頃から議会活動及び市政発展にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨今の新型コロナウイルス感染症のまん延により、本市におきましても市民の皆様の日常生活や地域経済に大きな影響が生じております。

国内最大の文化の祭典「紀の国わかやま文化祭2021」の開催やワクチン接種体制の整備等によって、一日も早くトンネルの先に希望の光、市民の皆様の笑顔が見えるよう願っております。

本市議会としましては、市民の思いを市政に反映するという地方議会の原点を意識し、市民の皆様がより身近に感じ、期待される和歌山市議会となるよう取り組んでまいりますので、今後ともより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

議長・副議長の経歴



副議長
やぶ ひろあき
藪 浩昭

(令和3年6月4日就任)
平成19年初当選 現在4期目
環境保全対策特別委員会委員長
建設企業委員会委員長
和歌山市監査委員
などを歴任



第87代議長
よしもと まさずみ
吉本 昌純

(令和3年6月4日就任)
平成19年初当選 現在4期目
総務委員会委員長
決算特別委員会委員長
議会運営委員会委員長
などを歴任

6月定例会の概要

開会

6月4日

- ・会期の決定(6月4日～6月22日)
- ・正副議長の選挙
- ・議会運営委員会委員の選任

- ・永年在職議員表彰
- ・議案説明(報告関係13件、承認関係1件、議案26件(補正予算案5件、条例案16件、その他5件))

一般質問等

6月8日

- ・仮議長の選任
- ・常任委員会委員の選任
- ・追加議案の説明(人事案件2件)、採決
- ・南畑幸代議員、中庄谷孝次郎議員、森下佐知子議員

6月10日

- ・井本有一議員、山本忠相議員、中村朝人議員

6月11日

- ・松井紀博議員、姫田高宏議員、山本宏一議員(P6～P9に概要掲載)
- ・議案の委員会付託

6月9日

- ・中村元彦議員、坂口多美子議員、園内浩樹議員

常任委員会

6月14日～17日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会にて議案について審査

6月18日

- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決(P10～P11に概要掲載)

閉会

6月22日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(中村(朝)議員)、採決
- ・追加議案の説明(補正予算案1件、人事案件5件)、採決
- ・議員発議(会議規則の一部改正1件、意見書案1件)
- ・うち1件反対討論(森下議員)、採決

令和3年度予算(6月補正後)

一般会計	1,468億5,121万4千円 (補正額21億8,689万円)
特別会計及び公営企業会計	1,364億6,008万6千円 (補正額703万1千円)
合計	2,833億1,130万円

補正予算の概要

一般会計では、子育て世帯生活支援特別給付金事業、感染症患者入院医療事業、PCR検査体制強化事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業、地方道整備事業、高齢者タクシー利用券交付事業、中小企業サポート補助事業、宿泊促進事業などに要する経費が計上されました。

特別会計では、卸売市場事業特別会計で、販路拡大目的の輸出のチャレンジに要する経費が計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

ピックアップ **一般質問**

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継がご覧いただけます。

※各党派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

自由民主党市議団



なかむら もとひこ
中村 元彦

産業振興

問 農業に興味を持たれている企業や個人が安心して農業を営んでいくには、農業の6次産業化だと考えるが、現在取り組んでいる、考えている施策はどうか。

答 6次産業化につながった事例や他の先進事例を積極



的にPRし、さらに農業者の声を耳を傾け、国等の支援策を活用できるよう取り組む。6次産業化により生み出される新商品は、和歌山市チャレンジ新商品認定事業等、市の制度を活用し、販路開拓やPRにつなげるなど農業の6次産業化への取組を更に進めていく。

問 昨年の答弁とも併せ、コロナ禍及びコロナ禍収束後の産業振興について、市長の考えはどうか。

答 令和2年6月議会で答弁したコロナ禍を大きな転機と捉え、本市ならではの施策を検討することについては、農業の分野だけでなく、産業全般において様々な取組を更に進めていく。

子供の健康対策

問 幼児・児童の食物アレルギー対策により誤食事故を防ぐことが最も重要だと考えるがどうか。

答 保育施設で誤食が発生した場合、発生状況、身体の場合、発生要因を記録、分析等し、再発防止を図るとともに、研修会で事例を研究・検討し、情報共有することで事故の発生防止に取り組んでいる。また、小学校へ入学の際は、保護者から必要な対応等を確認し、幼稚園等に問合せを行っている。私立幼稚園については、和歌山県私立幼稚園協会に協力要請している。

児童生徒の自殺対策

問 本市の対応策・マニュアルは作成しているか。また、具体的な内容はどうか。担任やスクールカウンセラーが行った個人面談や相談等を検証した結果はどうか。

私たち大人が子供たちに寄り添い、守る姿勢を子供たちに示し、子供たちに安心を与え、かつ、子供たちに思いやりの心が育つよう

にと強く願っている。命のスイッチを切ってしまう子供を一人も出さない、出さない、という市長の決意はどうか。



答 マニュアルは作成していない。具体的な対応策は、毎年7月に相談窓口の電話番号などを記載した「相談ダイヤルカード」を配布している。さらに、「SOSの出し方に関する教育」として、昨年度は、モデル授業を2校で実施した。今年度は、授業を行うための指導案及び学習教材を教育委員会で作成し、各校に配布予定である。担任やスクールカウンセラーによる個人面談や相談等の件数は年々増加し、「不登校」と「発達障害等」の相談が多いが、令和2年度

公明党議員団

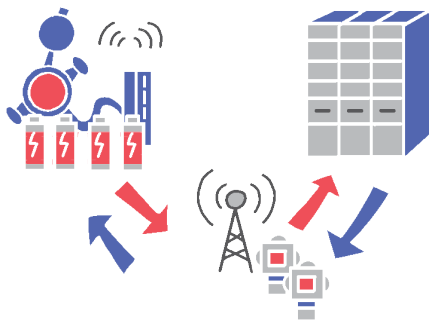


そのうち ひろき
園内 浩樹

スマートメーターの導入

問 水道メーターをスマートメーターに交換している自治体や国が多くある。これは、IoTの一つで、インターネットを利用することによってリアルタイムで相互に情報を得ることができ、検針が不要になり、漏

水の早期発見や高齢者の見守りにも利用できるほか、検針等のコストが減少するメリットがあるとの調査結果もある。検針等の担い手が減少する中、将来的な経営を考え、早期に交換設置すべきと考えるがどうか。



答 公営企業ICT推進チームの調査・研究の結果、費用負担が大きく、現時点での導入は厳しいと考えている。しかし、効果があることから、地域別の導入方法や国の動向などを注視し、費用対効果も鑑みながら今後も導入を検討していく。

養育費の不払い対策

問 提案した養育費の不払い対策検討会を早急に立ち上げ、養育費の立替え払い

事業等、具体的な施策を早期に導入することはできないか。

また、公正証書等作成時の補助金を予算化しているが、当事者は離婚時に公正証書を作成すれば養育費がもらえると知らず、DVなどが原因であれば話し合いもできない。そういったときの手続の方法も分からないため、補助金を利用するまでたどり着けないという最大の問題点に対し、今後どのような対策を行うのか。



答 検討会については、継続的な組織を早急に立ち上げ、事業の実施を含め、養育費を受け取れないひとり親家庭の困窮を防ぐための最善の方策を検討する。

また、養育費を受け取る

ためには公正証書等の文書が必要だが、そこまでたどり着けないひとり親が多数いることが問題であると認識している。今後は、公正証書等の取決めが重要であることとをチラシなどで周知を図るとともに、弁護士無料相談の実施回数の増加など、離婚前後の相談支援を一層充実させていく。

市所有建物の耐震化

問 和歌山市市有建築物耐震化促進計画での耐震補強工事完了目標から4年が過ぎているが、耐震診断や運営方針の決定をしていない

建物19棟ある。耐震化は命に関わる最重要事業であり、政府が発表している新たな防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策も利用しながら早急に対処しなければならぬと考える。そこで、なかなか進まない耐震化を早期に実施するために、現在の管轄部署に個別的に任せる方針を総括的統一方針、いわゆる運用方針や耐震診断、耐震補強工事等の時期を決定する耐震化等推進委員会を設

置し、市全体のインシナチュブをとって推進してもらいたいと考えるがどうか。

答 未耐震の公共施設については、所管課で建て替え、廃止、統廃合、大規模改修等の対策を検討している。和歌山市市有建築物耐震化促進計画に基づく耐震化対象施設のうち、今後も継続使用する施設については、市民の皆様や職員が安全に使用できるよう、耐震化や建て替えなどの方向性を定める耐震化等推進委員会などの設置について検討していく。

政和クラブ



まつい のりひろ
松井 紀博

市道中橋線の在り方と整備

問 市道中橋線とその周辺は、これからの本市のまちづくりの拠点として非常に重要な地域である。

昨年度に行った同線の整備は、どういう狙いなのか。
答 歩行者に優しい、歩きたくなる空間を目指し、1工

区を先行整備した。車道のスラローム化で車両速度の抑制を図っている。

問 施策では、コンセプトがしっかりと形に現れていなければ、それを使う市民に意図が伝わらない。計画内容を的確に形に現し、市民にアピールすることが重要である。

完成した1工区を見ると、コンセプトが反映されていないように見えるが市長の見解はどうか。また今後、コンセプトの反映に向け、どのように取り組むのか。

答 今回完成した1工区の区間は、歩行者に優しい、歩きたくなる空間として一定の評価はできると考えている。しかしながら、スラロームによる車両速度の抑制が不十分となっている面もあり、ご指摘のとおり、コンセプトが十分に反映できていない部分があることは認識している。今年度、2工区の工事を予定しているが、両区間の連続性等を考慮し、1工区のしつらえも含め、歩行者に優しい、歩きたくなる空間となるよう引き続き取り組んでいく。



やまもと こういち
山本 宏一

新六箇井堰の早期撤去を

問 平成18年に結成された「紀の川大堰に関する和歌山市議会議員連盟」は、15年間の長きにわたり、新六箇井堰の完全撤去と七瀬川に係る内水排除施設の設定、またその合流地点において外水位低下に寄与する河川維持の継続を要望してきている。近年は、市長もともに国土交通省等への要望活動を実施してきているところであるが、この15年の間には自家用車が水没のため廃車となったり、寝室まで浸水するといった洪水被害が発生しており、昨今の台風の影響増加やゲリラ豪雨の恐怖は計り知れない。この点、紀の川の洪水被害対策は、喫緊の課題であるが、市長の思い、決意はどうか。

答 今後とも、紀の川の内水対策については、国、県、関係市町で構成された「紀

の川流域における浸水対策検討会」において示された対策が確実に実施されるよう要望するとともに、紀の川本川の治水対策については、国に対し、新六箇井堰の撤去と治水安全度の向上を「紀の川流域治水プロジェクト」に位置付けるなど、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」のもと、十分な予算を確保した上で、確実に施工されるよう紀の川大堰に関する議員連盟の皆様とともに要望していく。

日本共産党議員団



ひめだ たかひろ
姫田 高宏

障害者施設の建設について

問 国庫補助の制度がなくなったわけでもないのに、市が補助事業を募集していないのはなぜか。復活させるべきだと思つがどうか。

答 令和元年度以降、募集していないが、今後、施設・事業所数の推移などを見な

がら、補助事業の募集について検討していく。



みなみはた さちよ
南畑 幸代

学童保育の充実を!

問 早期に利用決定するとともに、平日の保育時間の延長と第2、第4土曜日の保育を毎週に見直せないか。

答 より早く利用決定できるように努めていく。時間延長と毎土曜日の開級は、アンケートや利用者ニーズを把握しながら検討していく。



もりした さちこ
森下 佐知子

中学校給食

問 全員給食を実施するに先立ち予算化した調査費について、先進市を参考に、子供たちにとって最善の実施方式を検討されたい。

答 子供たちのことを最優先に考え、本市の実態にあった中学校の全員給食に取り

組んでいく。



さかくち たみこ
坂口 多美子

生理の貧困と環境整備

問 生理用品の入手が困難な児童生徒のために、学校トイレに生理用品を設置し、男女別になつていない小学校のトイレを直ちに改善すべきたと思つがどうか。

答 安心して学校生活を送れるようトイレの整備を進めていく。



いもと ゆういち
井本 有一

生活保護申請

問 コロナ禍で厚生労働省から生活保護の弾力的運用の通知が何度も出ている。相談件数は46%増だが、申請件数が6%増にとどまっているのはなぜか。

答 緊急小口資金などの情報提供を行うことで、申請に至らなかつたためである。



なかむら あさと
中村 朝人

**買物困難者対策
コロナ対策**

問 食料品店がなくなり生活が不便に。デマンド型交通の導入など対策はどうか。

答 現時点では難しい。

問 感染抑止のため、検査体制を拡大できないか。

答 集中的検査で感染拡大防止を徹底し、収束を図る。

民主クラブ

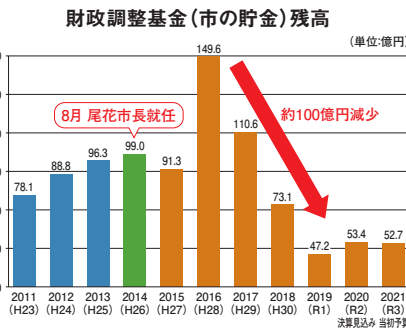


やまもと ただすけ
山本 忠相

本市の財政状況と見通し

問 新型コロナウイルス感染症の影響により、市税の減収など楽観視できない状況である。今後も社会保障費の増加が見込まれるなど、本市財政を取り巻く環境は依然厳しい状況にもかかわらず、約150億円あつた

財政調整基金を100億円
余りも使うことが理解でき
ない。財政調整基金は、標
準財政規模の10%程度が望
ましいとされており、取崩
しせずに積立額の増加は容
易ではないと考えるが、法
で決められていないので、
厳密に守る必要はないとい
う理解でよいのか。



答 財政調整基金残高につ
いては、経済不況等による
税収減や災害等発生時の多
額の経費が必要となる場合
などの不測の事態に備えて
おく必要があることから、
一定、残高を維持する必要
はあると考える。

市中経済の再生

問 コロナ禍において、市中
経済は非常に厳しい状況に

ある中、県は感染防止対策
が基準に達した事業者に対
して認証マークを交付する
制度を創設した。これは、
感染拡大防止対策のレベル
を引き上げ、その質を保証
するとともに、認証が受け
られるように支援すること
で、市民の安心安全を確保
しつつ、営業活動を継続で
きる制度である。今後、再
び営業時間の短縮要請や営
業自粛が求められれば、今
度は倒産・廃業の波が打ち寄
せることになる。県の認証
を受けた事業者は、時短要
請が出て通常営業ができる
など、又は定程度制限を緩和
するなど、県にお願いして
はどうか。

答 感染対策を実施して
いる事業者へ何らかのイン
センティブを与えることは、
「感染拡大防止」と「地域経
済の回復」の両立に有効な手
法であると考えており、こ
の対応については、県や国
とも協議が必要なことから、
今後、感染対策を行ってい
る事業者への時短要請など
の在り方について、検討して
いきたいと考える。

**和歌山興志クラブ・
日本維新の会**



なかしやうや こうじろう
中庄谷 孝次郎

テレワークの推奨

問 海・山・川の自然と都市
機能が共存する本市は、
ワーケーションという働き
方に適している。平日はテ
レワークにいそしみ、週末
は趣味を楽しむという働き
方により、生き生きとした
まちになるのではないかと
場所を選ばずに働くことが
できるテレワークは、地方
自治体にとって大きなチャ
ンスであり、その推奨に力
を入れるべきだと考えるが、
これまでの成果と技術革新
によるテレワークを踏まえ、
未来の和歌山市はどのよう
なものになるのか。

答 個人や企業の地方回帰
の機運が高まる中、首都圏
等企業のサテライトオフィス
の誘致が実現している。
今後は、関係人口の増加
につながる取組の強化や安全

安心なまちづくり、さらに
は移住を伴う企業誘致、テ
レワーカーの拠点整備など
移住施策を加速させ、和歌
山市に住んでよかった、これ
からも住み続けたいと言わ
れるまちにしたいと考える。

GIGAスクール構想

問 児童生徒に1人1台の
タブレット端末が整備され
たことにより、端末上での
採点やAI機能による問題
の提供、さらには災害時な
どの緊急連絡も可能になる
と考える。このような中、
時代に取り残されずに技術
を使いこなせれば、一人一人
に特化した細やかな教育の
提供ができるかと考えるが、
今後、技術革新を利用して
本市の教育をどのように改
革していくのか。

答 プログラミング的思考
など情報活用能力を育成す
るとともに、情報モラル教
育に力を入れ、子供たちが
ネット社会を安全に生きて
いけるよう取り組んでいく。
今後は、これまで取り組
んできた教育の良いところ
を大切にしながら積極的に
新しいICT技術を活用

**声の市議会だより
(市議会だよりの音声版)**

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会
だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 議事調査課
☎435-1120 までご連絡ください。



し、遠隔地の専門家とつな
いだ授業や学校間の交流な
ど、個別最適な学びと協働
的な学びをそれぞれ深めて
いきたいと考えている。

委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された承認案件1件及び議案5件について、慎重審査の結果、承認及び可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第1号)中、企画事業20万円について。これは、SDGsの目標達成に向けた社会課題解決型事業の作り方について、専門家を招き、講習会を開催するものです。

移住定住戦略事業899万円について。これは、総務省が実施する企業人材派遣制度を活用し、地域活性化に向けた活動に従事する人を受け入れるものです。

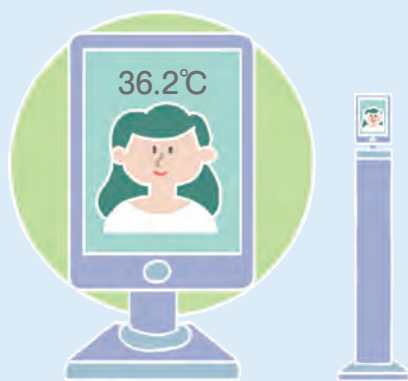
地域防災事業200万円について。これは、地区防災会の防災資機材の整備に要する費用を助成するものです。

議案第3号、和歌山市職員服務宣誓条例の一部を改正する条例の制定について。これは、国家公務員に関して、職員の服務の宣誓に関する政令が改正され、任命権者等の面前で宣誓書に署名することとしていた規定が削られたことから、本市においても同様に、職員の服務の宣誓の際に任命権者と対面

し、署名することを不要とするため、所要の改正を行うものです。

議案第20号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、コロナウイルス感染状況等分析強化事業66万円について。これは、新型コロナウイルス感染症への対策を多面的に強化するため、民間事業者が保有する位置情報等のビッグデータを活用するものです。

避難場所整備事業910万5千円について。これは、新型コロナウイルス感染症対策のため、避難所等にサーマルカメラを設置するものです。



なお、審査過程において、避難情報の見直し、避難所運営員の増員について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

厚生委員会

当委員会に付託された議案14件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第1号)中、子育て世帯生活支援特別給付金事業6億1765万4千円について。これは、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対する生活支援として、児童扶養手当受給者等に対して給付金を支給するものです。

感染症患者入院医療事業1億3244万4千円について。これは、新型コロナウイルス感染症の拡大による入院患者の増加に伴い、入院医療費の自己負担分に対して行っている公費負担を増額するものです。

新型コロナウイルスワクチン接種事業1億635万2千円について。これは、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、接種計画等を変更し、個別接種だけではなく、集団接種も実施できるように、予算の振替及び増額等を行うものです。

議案第20号、令和3年度和歌山

市一般会計補正予算(第2号)中、高齢者タクシー利用券交付事業3億434万4千円について。これは、新型コロナウイルス感染症の影響等により、日常生活で不便が生じている高齢者(市内在住65歳以上)に対し、買物や通院等に安心して外出してもらうため、交通機関であるタクシー利用時の補助を行うものです。



なお、審査過程において、令和2年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算見込及び令和3年度国民健康保険料率等、和歌山市の新型コロナウイルス感染症とワクチン接種の状況、令和2年度和歌山市保健所運営協議会、生活保護法第78条の適用状況、海水浴場、太陽光発電事業の進捗について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



委員会の模様をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案8件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第1号)中、障害者スポーツ推進事業263万5千円について。これは、スポーツを通じた共生社会の実現に向け、障害者と健常者がともにスポーツを楽しめる環境づくり等を推進するものです。

観光基盤整備事業2710万1千円について。これは、友ヶ島野奈浦栈橋架け替え工事に係る設計の修正及び潮流調査を行うものです。



友ヶ島の野奈浦栈橋

教育振興事業1530万円について。これは、寄附を活用し、小学校理科教育に係る備品等を購入す

るものです。

議案第20号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、令和3年度和歌山市中小企業サポート補助事業6000万円について。これは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市内中小企業者等が事業継続のために行う既存事業の拡充・転換又は感染拡大を防止するための取組等に要する費用の一部を補助するものです。

和歌山市レシートキャンペーンタイアップ事業750万円について。これは、和歌山市チャレンジ新商品を景品として提供するなど、レシートキャンペーンを実施している事業者とタイアップして地域経済の活性化を目指すものです。

和歌山市宿泊促進事業5000万円について。これは、コロナ禍で落ち込んだ観光需要の回復に向け、宿泊料金等の割引を支援するものです。

コミュニティセンターWiFi整備事業1598万9千円について。これは、コロナ禍においても生涯学習を推進していくため、各コミュニティセンターにWiFi環境を整備するものです。

なお、審査過程において、第二次和歌山市子供読書活動推進計画などについて、執行部から報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

建設企業委員会

当委員会に付託された議案5件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第1号)中、地方道整備事業(市駅小倉線、坂田磯の浦線)について。これは、令和4年度から令和5年度までの期間、限度額を5億8800万円とする債務負担行為の補正で、市駅小倉線及び坂田磯の浦線の整備を行うものです。

バス路線維持対策事業849万9千円について。これは、地域主体による地域バスの導入に向け、実証運行を行うものです。



紀三井寺団地線を走行している地域バス

火災をなくす市民運動事業200万円について。これは、軽可搬式消防ポンプ一式等を婦人防火クラブに交付するものです。

議案第17号、和歌山市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について。これは、京橋親水公園の

整備に伴い、和歌山市営京橋駐車場を廃止するため、所要の改正を行うものです。

議案第20号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、貴志川線利用環境革新等事業709万2千円について。これは、コロナ後の需要回復を見据えて、改装車両の導入やWiFi設備等の乗客受入れ環境の整備に要する費用の一部を補助するものです。

地域公共交通活性化・継続事業(和歌山電鉄)192万6千円について。これは、利用者が減少しているものの、減便による車内密度の上昇を防ぐために便数を維持して運行を継続するための経費及び業務効率化に資するデジタル投資に要する費用の一部を補助するものです。

地域公共交通活性化・継続事業(和歌山バス)364万1千円について。これは、和歌山バスが実施する空気清浄機設置等の感染症対策に要する費用の一部を補助するものです。

なお、審査過程において、和歌山市消防活動センター及び和歌山市東消防署岡崎分署の開庁、市道中橋線の状況と今後のスケジュールなどについて、執行部から報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

永年在職 議員表彰

和歌山市議会6月定例会において、永年在職議員として、次の議員が表彰されました。



もりした さちこ
森下 佐知子 議員



さへき しげあき
佐伯 誠章 議員



にわ なおこ
丹羽 直子 議員



わかやま市議会だより 議会報コンクールで3年連続受賞!

中核市議会議長会第16回議会報コンクールにおいて、わかやま市議会だより6月定例会号(令和2年8月発行)が『優秀賞』に選ばれました。一昨年の『審査員特別賞』、昨年の『優秀賞』に続き、3年連続の受賞を果たしました。

市民の皆様にも最も身近な和歌山市議会。これからも市民目線で市議会の最新情報を分かりやすく発信していきます。



第14回
審査員特別賞



第15回
優秀賞



第16回
優秀賞

台湾学校古典芸術作品&水彩画作品 日本巡回展を開催しました!

日台友好和歌山市議会議員連盟と日台文化芸術交流会の主催で、台湾の児童・生徒が描いた水彩画などの芸術作品展が4月に和歌山市民会館で開催されました。和歌山市立和歌山高等学校の生徒の作品も併せて展示され、芸術を通じた学生間の国際交流も実現しました。

日台友好和歌山市議会議員連盟では、これからも台湾との友好交流に努めてまいります。



広報委員会からのお知らせ

NEW 市議会公式Instagram!

普段なかなか見ることができない市議会の一面をお届けします。ぜひ、フォローをお願いします。



NEW 市議会公式YouTube!

『和歌山市議会チャンネル』
身近で分かりやすい動画を配信します。チャンネル登録をお待ちしています。



和歌山市議会広報委員会

【委員長】中村 元彦 【副委員長】堀 良子
 【委員】中村 朝人 中庄谷 孝次郎 赤松 良寛
 山中 敏生 川端 康史 坂口 多美子
 中塚 隆 井上 直樹 北野 均
 佐伯 誠章

〒640-8511
 和歌山市七番丁23番地
 和歌山市議会広報委員会 宛
 TEL: 432-0022(議会事務局)
 FAX: 424-9276
 Mail: gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
 植物油インキを使用しています。

